



くすのき

稲敷市立あずま西小学校
学校だより

NO.12

令和7年 3月11日発行
文責：松本 雅彦

自分の命は自分で守る ～東日本大震災の記憶を忘れずに～

2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災は、津波による多くの犠牲者と福島第一原子力発電所の事故による大規模な放射能汚染という、私たちが今までに味わったことがない未曾有の大災害でした。あれから14年の時がたちましたが、復興への道のりはまだまだ続いています。

あずま西小に通う子どもたちはこの大災害を体験した子はいません。だからこそ、あの時を覚えている私たち大人がその記憶をしっかりと語り継ぐことが大切です。

「自分の命は自分で守る」…子どもたちの防災意識を高めてまいります。



進学・進級に向けた心構えを!

3月4日（火）に実施された「6年生を送る会」では、まもなくあずま西小を卒業していく6年生と在校生の双方が、たくさんの感謝の気持ちを伝え合いました。全校が1つにまとまったとても温かい会になりました。

保護者や学校運営協議委員の皆様には、ご参観いただき誠にありがとうございました。

さて、まもなく令和6年度の全課程が修了します。そして、お子さんは4月から進学・進級することとなります。ここで大切なのは、1年間をしっかりと振り返り、新たな目標をもって次のステップに進んでいくことです。学校には、それぞれの学年に応じて担う役割があります。担任からも、進学・進級に向けた心構えについての学級指導があるとともに、6年生には卒業式前日、在校生には修了式の日にお子さんの成長を記した通知表を配付いたします。一人一人が仲間とともに学びあい、思いあい、鍛え合うことのできる中学生と西っ子になってほしいと思います。

6年生を送る会写真
(プレゼント贈呈)

保護者の皆様へ感謝申し上げます

この1年、保護者の皆様におかれましては、あずま西小の学校教育について多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本校では、「ONEチャレンジ 何かひとつ～3つのCと『しぐさ』の推進～」をグランドデザインに掲げ取り組んでまいりました。

子どもたちは、いろいろなことに興味・関心を抱き、意欲的に学習や学校行事に取り組む姿が見られました。次年度もこうした積極的な姿勢で日々の学校生活を過ごしてほしいと思います。

『西っ子しぐさ』につきましては、掲げた12の行動指針の中で、全校で定着できているものとそうでないものがあります。特に、仲間意識の醸成につきましては、本校の課題の一つでもありますので、今後も引き続き取り組んでまいります。

ONEチャレンジ 紹介!

今回は
「読売新聞KODOMO俳句入選」
2年1組の 男子児童 の作品が掲載されました。
「風呂にうく でこぼこ大陸 ゆずの山」

冬至の日に入ったたくさんのゆずが浮かぶお風呂を「大陸」に例えたアイデアマンとの講評をいただきました。

来年度も色々なことにどんどん
チャレンジしていきましょう!

